日本生命保険相互会社

https://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/



《将来に向けた取組方針》

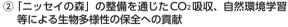
当社は、サステナビリティ経営を事業運営の根幹と位置付け、「人」・「地域社会」・「地球環境」の3つの領域に重点を置き、それぞれのサステナビリティを実現することを目指しています。「地球環境」に関しては、(1)気候変動問題、(2)生物多様性、(3)プラスチック問題(サーキュラーエコノミー)を3つの柱として当社グループ全体で取組んでいます。「生物多様性への対応」については、ネイチャーポジティブな社会を目指し、資産運用・事業活動の両面で、各種の取り組みを行って参ります。

〈日本生命の環境取組み〉

○生物多様性への取組み

① 全国の当社職員によるボランティア活動による地域の生物 多様性の保全活動への参加

全国の支社で毎年、定例的にボランティア活動を行っており、 その中で、生物多様性の保全に繋がる活動も実施している。



日本生命職員による任意団体である"ニッセイの森"友の会は (公財)ニッセイ緑の財団とともに1992年から森づくりに取り 組み、自然環境学習の場として生物多様性保全に貢献している。 (全国207カ所、138万本を植樹)

③ 日本生命財団による環境問題研究助成の実施

1979年に当社が設立した日本生命財団で、環境問題研究助成を 継続、うち生物多様性に関する研究助成は2016年以降、86件 1億2.560万円となっている(2023年3月末時点)。

④ESGテーマ投融資を通じた自然資本や生物多様性における 課題解決

環境持続型の漁業・養殖事業を資金使途とするブルーボンドを はじめ、森林整備や絶滅危惧種の生息域調査等を資金使途とす るグリーンボンドへの投融資を実施。



沖縄での海岸清掃ボランティア



植樹・育樹活動の様子



陸上養殖の様子 提供:マルハニチロ株式会社

○気候変動問題

- ・CO₂/GHG排出量の削減目標
- ①自社排出量削減目標 2030年度△51%以上(2013年度比) 2050年度ネットゼロ
- ②投資先排出量削減目標 2030年度 総排出量△45%以上(2010年度比) インテンシティ△49%以上(2020年度比) 2050年度ネットゼロ
- ・目標達成に向け、営業拠点・保有ビルの省エネルギー化、社有車のEV車等の導入推進、 ESG投融資の推進等に取り組む。

○プラスチック問題

- ・環境省が主催する「Plastics Smart運動」へ 賛同し、業務や日常生活で使用するプラスチッ クのリデュース・リユース・リサイクルに努 める。
- その一環として、「プラスチッククリアファイルゼロ」を目標に設定。